

第30回日本外傷学会日程表  
第1日目 5月30日(月)

第1会場+第2会場 (ソラシティホール)

8:55~9:00

開会式

第30回日本外傷学会総会・学術集会会長 大友 康裕

9:00~10:00

優秀演題セッション 1

座長：堺市立総合医療センター 横田 順一郎

日本医科大学大学院附属病院救急医学分野 横田 裕行

OE1-1

外傷性脳損傷患者の来院時カリウム値による Targeted Temperature Management と転帰  
香川大学医学部附属病院 救命救急センター 一二三 亨

指定討論者：熊本大学医学部附属病院 救急・総合診療部 笠岡 俊志

OE1-2

ミトコンドリア標的抗酸化ペプチド(SS31) は熱傷後インスリン抵抗性を改善する

Department of Surgery, Massachusetts General Hospital 山際 武志

指定討論者：順天堂大学浦安病院 救急診療科 田中 裕

OE1-3 非骨傷性頸髄損傷に対する早期除圧術の検討

埼玉医大総合医療センター 高度救命救急センター 大饗 和憲

指定討論者：国立病院機構災害医療センター 救命救急センター 加藤 宏

OE1-4 外傷センターを中心とした広域外傷システム構築の効果

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 益子 一樹

指定討論者：豊岡病院 但馬救命救急センター 小林 誠人

10:00-11:00

優秀演題セッション 2

座長：帝京大学医学部救急医学講座 坂本哲也

国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 木村昭夫

OE2-1 鈍的外傷における初期診療時血中 IL-6 濃度と重症度・転帰の関連

りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 中田 孝明

指定討論者：福岡大学医学部 救命救急医学講座 石倉 宏恭

OE2-2 病院前外傷診療における EFAST(extended FAST)は有効である

公立豊岡病院 但馬救命救急センター 前山 博輝

指定討論者：那覇市立病院 救急科 林 峰栄

OE2-3 病院前診療における乳酸値測定の意義

りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 福間 博

指定討論者:千葉大学医学部附属病院 救急科

渡邊 栄三

OE2-4 NOM を施行した肝損傷に伴う胆道系損傷への対応

～DIC-CT による早期診断の有用性～

りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 中尾 彰太

指定討論者: 済生会横浜市東部病院 救命救急センター 船曳 知弘

11:00～12:00

**Cross Fire Session 1: Coagulopathy in Trauma. Is it DIC?**

座長: University of California, San Diego Prof. Raul Coimbra  
東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学 久志本 成樹

「YES」 「Trauma, Shock, and Disseminated Intravascular Coagulation」

北海道大学医学部付属病院先進急性期医療センター 丸藤哲

「NO」 「Coagulopathy in Trauma: Is it DIC?」

Queen Mary University of London Karim Brohi

12:00～13:00

ランチョンセミナー1 (共催: 一般社団法人 日本血液製剤機構)

「外傷性凝固障害の考え方、診断、治療」

司会: 日本大学医学部 救急集中治療医学分野

木下 浩作

演者: 北海道大学大学院医学研究科 救急医学分野

丸藤 哲

13:10～13:40

会員総会

13:40～14:10

会長講演

司会: 済生会横浜市東部病院 救命救急センター 北野 光秀

「防ぎえる外傷死への取り組み」

第30回日本外傷学会総会・学術集会会長 大友 康裕

14:10～15:40

シンポジウム: 「わが国の Preventable Trauma Death は減少できたのか? -これまでの取り組みと今後の望むべき姿」

司会: 南多摩病院

益子 邦洋

堺市立総合医療センター

横田 順一郎

S1-1 我が国の11年間の外傷診療成績の検討 (JTDBにおけるPTD症例数の推移から)

東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター

遠藤 彰

S1-2 Preventable Trauma Deathの客観的なpeer reviewが必要である

八戸市立市民病院 救命救急センター

吉村 有矢

S1-3 JTAS: Japan Triage and Acuity Scaleによる外傷の緊急度分類

富山大学大学院 危機管理医学 (救急・災害医学)

奥寺 敬

S1-4 地域外傷診療システムの構築は外傷診療の質を向上させる

公立豊岡病院 但馬救命救急センター

小林 誠人

S1-5 重傷外傷初期診療での REBOA としての IABO Strategy

済生会横浜市東部病院 救命救急センター

折田 智彦

S1-6 治療標準化の流れは頭部外傷関連多発外傷の Preventable Trauma Death を減らせたのか？

日本医科大学大学院 医学研究科 救急医学分野

横堀 将司

15:40~16:20

Case Conference

あなたならどうアプローチする？

司会：東京医科歯科大学大学院 医学研究科救急災害医学分野 大友 康裕

~~Division of Acute Care Surgery, University of Southern California, LAC+USC Medical Center, USA~~

松島 一英

指定討論者

近畿大学医学部附属病院 救命救急センター 村尾 佳則

八戸市立市民病院 救命救急センター 今 明秀

帝京大学医学部 救急医学講座 藤田 尚

弘前大学医学部 救急・災害医学講座 山村 仁

日本医科大学 高度救命救急センター 金 史英

帝京大学医学部附属病院 救命救急センター 石川 秀樹

16:20~17:20

Cross Fire Session 2 : Non Responder に CT は有益か有害か？

座長：横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 森村 尚登

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 渡部 広明

「有益」：「Hybrid ER は重症外傷の転帰を改善するか ~新たな trauma work flow の提案~」

大阪府立急性期総合医療センター 木下 喬弘

「有害」：「体幹の緊急手術を要する重症外傷例への CT は低血圧か昏睡を伴えば危険かもしれない。」

亀田総合病院 救命救急センター 白石 淳

### 第3会場 (Room C)

12:00~13:00

ランチョンセミナー2 (共催：スミス・アンド・ネフュー ウンド マネジメント株式会社)

総合テーマ：「重度四肢外傷治療の更なる飛躍をめざして」

座長：帝京大学医学部附属病院 外傷センター 新藤 正輝

演題1：「Traumatic Disability をつくりたくないために～重度四肢外傷治療の飛躍をめざして～」

順天堂大学医学部附属浦安病院 整形外科 外傷再建センター 外傷再建センター長  
工藤 俊哉

演題2：「重度四肢外傷治療における陰圧閉鎖療法の役割 ～救命センターに伝えたいこと～」

京都第一赤十字病院 第一整形外科 副部長 奥村 弥

14:10～15:10

特別講演 1：非骨傷性頸髄損傷-原因と治療法(※救急科領域専門医更新ポイントセッション)

司会：埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター 井口 浩一

講演1：頸椎後縦靭帯骨化症による頸髄損傷

東京医科歯科大学医学部付属病院 整形外科 吉井 俊貴

講演2：非骨傷性頸髄損傷に対する早期手術と待機手術のランダム化比較試験  
(OSCIS 試験)の現状

東京大学医学部付属病院 整形外科 筑田 博隆

15:10～16:00

招待講演 2

司会：近畿大学医学部附属病院 村尾 佳則

「Transforming Trauma Training with Simulation: The Next Revolution」

Uniformed Services University Prof. Mark Bowyer

16:00～16:50

特別講演 2(※救急科領域専門医更新ポイントセッション)

司会：東海大学医学部 救命救急医学 猪口 貞樹

「日本における外傷に起因する死因究明の現状」

千葉大学大学院医学研究科 法医学 岩瀬 博太郎

## 第4会場 (Room B)

9:00～10:00

一般口演 1

外傷登録・統計・疫学

座長：新潟市民病院 救急科 廣瀬 保夫

01-1 防ぎ得た外傷死にピアレビューの代わりとなる新たな基準の検討

徳島県立中央病院 外科 森 勇人

01-2 亜急性期に血腫が増大する急性硬膜下血腫症例の要因分析

飯塚病院 救急部 山田 哲久

01-3 頭部体表外傷で出血性ショックとなった5例  
中頭病院 救急科 間山 泰晃

01-4 地方救命救急センターにおける重症外傷症例の入院診療体制の検討  
飯塚病院 集中治療部 安達 普至

01-5 当院における過去6年間のジェットスキー、バナナボートによる外傷の検討  
亀田総合病院 救命救急センター 今本 俊郎

01-6 四肢・骨盤骨折の症例登録制度 -RODEO studyについて-  
横浜労災病院 運動器センター 三上 容司

10:00~11:00

一般口演2

外傷診療体制① 地域

座長：さいたま赤十字病院 救命救急センター 清田 和也

02-1 兵庫県南部における救命センター増加と外傷症例集約化の現状  
兵庫県災害医療センター高度救命救急センター 松山 重成

02-2 演題取り下げ

02-3 田舎で生じた重症外傷患者は救命できているか？~地方におけるトラウマバイパスの意味~  
熊本赤十字病院 総合救命救急センター 外傷外科 林田 和之

02-4 ER型救命救急センターにおける外傷診療体制の検討  
熊本赤十字病院 外傷外科 堀 耕太

02-5 Trauma Center Maturity Measured By Potentable Death Analysis  
University of California, Department of Surgery, Division of Trauma, Surgical  
Critical Care, Burns and Acute Care Surgery Matsumoto Shokei

02-6 地方都市で理想の外傷センターを創る：鹿児島からの報告  
社会医療法人緑泉会 米盛病院 救急科 富岡 譲二

11:00~11:50

一般口演3

外傷教育

座長：京都大学大学院 初期診療・救急科 佐藤 格夫

03-1 救急外来における外傷外科処置の実態 看護師のアンケート調査  
北九州総合病院 救急救命センター 高間 辰雄

03-2 外傷外科修練に適した「救急外科」がある当院救命救急センターの特徴

堺市立総合医療センター 救急外科・救命救急センター 天野 浩司

03-3 高齢者の交通事故外傷の特徴  
滋賀医科大学社会医学講座法医学部門 古川 智之

03-4 外傷症例の手術に関する off-the-job training コースの対比  
東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター 吉川 俊輔

03-5 外傷外科医修練 南アフリカ共和国外傷センター臨床留学の経験  
徳島県立中央病院 外科 救急科 大村 健史

14:10~15:10

一般口演 4

腹部外傷① 膵損傷

座長：日本医科大学附属病院 高度救命救急センター 金 史英

04-1 膵内胆管引き抜き損傷をきたした IIIa(Ph)B 型膵損傷の一例  
兵庫県立加古川医療センター 救命救急センター 板垣 有亮

04-2 膵体部鋭的損傷に対し迅速な診断および治療によって良好な経過をたどった一例  
大崎市民病院 救命救急センター 前澤 翔太

04-3 膵損傷に対する内視鏡的膵管ドレナージ術の経験  
大阪市立大学 救急医学 晋山 直樹

04-4 IIIb 型外傷性膵損傷に対する膵温存治療の試み  
国立国際医療研究センター外科 須田 竜一郎

04-5 非手術的治療により軽快した膵損傷の 2 症例  
平塚市民病院 救急外科 葉 季久雄

04-6 外傷性膵炎と外傷後膵仮性嚢胞について  
札幌東徳洲会病院 外科 向井 信貴

15:10~16:10

一般口演 5

腹部外傷② 腸間膜・腸管

座長：久留米大学病院 高度救命救急センター 疋田 茂樹

05-1 鈍的外傷受傷後 8 病日に判明した S 状結腸穿孔の 1 症例  
横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 加藤 真

05-2 腸間膜損傷に起因した S 状結腸動脈閉塞で虚血壊死を来し敗血症性ショックに至った 1 例  
関西労災病院 救急部 高松 純平

05-3 だんじりに挟まれ受傷した外傷性十二指腸損傷の一例

神戸市立医療センター中央市民病院 救急部 小森 大輝

05-4 外傷性腸間膜損傷症例の検討  
北九州市立八幡病院 救命救急センター 外科 山吉 隆友

05-5 外傷性十二指腸損傷症例の検討 ～十二指腸損傷における術式選択  
新潟大学 医歯学総合研究科 消化器・一般外科 滝沢 一泰

05-6 5ヶ月間で経験した小児における鈍的外傷性十二指腸穿孔の3例  
和歌山県立医科大学附属病院 高度救命救急センター 那須 亨

16:10～17:10

一般口演 6

腹部外傷③ 刺創・血管損傷

座長：深谷赤十字病院 救命救急センター 金子 直之

06-1 鈍的外傷による下大静脈損傷の治療の課題  
日本医科大学 千葉北総病院 救命救急センター 中山 文彦

06-2 腹腔内出血に対し大動脈遮断バルーンカテーテル留置と DCS を同時に施行し救命した一例  
独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 家城 洋平

06-3 REBOA で術中出血コントロールを行った腹部刺創ショックの2例  
八戸市立市民病院 救命救急センター 昆 祐理

06-4 当院における腹部刺創症例の検討  
高知赤十字病院 救命救急センター 山本 祐太郎

06-5 当院における腹部刺創 46 例における検討  
兵庫医科大学 救急部 西村 健

06-6 TAE から開腹コンバートした外傷性中結腸動脈損傷の1例  
刈谷豊田総合病院 消化器・一般外科 犬飼 公一

## 第5会場 (Room A)

9:00～10:00

一般口演 7

病院前外傷診療

座長：りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 水島 靖明

07-1 病院前情報でのクッシング現象は脳ヘルニアを伴う重症頭部外傷を示唆するか？  
岡山大学病院 高度救命救急センター 湯本 哲也

07-2 当センターの Preventable Trauma Death は減少したか？  
山梨県立中央病院 救命救急センター 岩瀬 史明

07-3 重症外傷症例に対するドクターカー出動の有用性  
兵庫県災害医療センター 橋高 弘忠

07-4 意識障害を伴う外傷傷病者に対する他動的 Mallampati test の有用性  
University of Pittsburgh School of Medicine, Department of Emergency Medicine  
内藤 宏道

07-5 戦場における救護のガイドラインから事態対処医療へ  
自衛隊中央病院 後藤 浩也

07-6 地域を網羅した救急活動記録からみた交通事故患者の受傷機転と予後の関係性  
大阪大学大学院 医学系研究科 救急医学 片山 祐介

10:00～11:00

一般口演 8

頸部外傷、その他

座長：東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター 清水 敬樹

08-1 頸髄損傷に対する急性期手術における周術期合併症の検討  
帝京大学医学部附属病院 外傷センター 稲垣 直哉

08-2 顔面外傷後の遅発性咽頭後隙血腫による上気道閉塞の 1 例  
亀田総合病院 救命救急科 北井 勇也

08-3 最近経験した喉頭外傷の 5 例  
済生会熊本病院 救急総合診療センター 尾崎 徹

08-4 肝硬変・腎不全・COPDを合併した頸椎胸椎骨盤損傷DISH患者に対する治療  
戦略  
岡山市立市民病院 整形外科 木浪 陽

08-5 Scapulothoracic dissociation に横隔膜神経麻痺を合併した 1 例  
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 小西 良一

08-6 脊髄損傷の加療中に発症した本態性血小板血症の一例  
近畿大学医学部附属病院 救命救急センター 濱口 満英

16:00～17:00

一般口演 9

脊椎・脊髄外傷

座長：国立病院機構 災害医療センター 救命救急センター 加藤 宏

09-1 外傷性心肺停止の原因究明 ～頸椎損傷を死後 CT で検討する～  
高知医療センター 整形外科 多田 圭太郎



09-2 術中 CT 撮影が可能な Hybrid 手術室を利用した脊椎破裂骨折手術の小経験  
堺市立総合医療センター 救命救急センター 川本 匡規

09-3 外傷性胸腰椎損傷に対し後方固定術を行った症例の検討  
関西医科大学附属滝井病院救命救急センター 救急医学科 齊藤 福樹

09-4 脊髄外傷に対する高圧酸素療法を併用した少量ステロイド投与の効果  
自治医科大学 附属さいたま医療センター 救急科 海老原 貴之

09-5 脱臼を伴う頸髄損傷における脱臼整復時間と神経学的予後の関連  
神戸赤十字病院 整形外科 武田 和也

09-6 spinal damage control を考慮した脊髄外傷治療の経験  
関西医科大学附属滝井病院 救命救急センター 岩瀬 正顕

## 第 6 会場 (Terrace Room)

9 : 00~10 : 00

一般口演 10

骨盤外傷① 出血への対応

座長：明理会中央総合病院 大泉 旭

010-1 当院における骨盤外傷 22 例の検討  
健和会大手町病院 外科 花木 祥二郎

010-2 寛骨臼・骨盤輪損傷に対する経カテーテル動脈塞栓術後合併症の検討  
埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 八幡 直志

010-3 骨盤輪骨折における創外固定の止血効果-日本外傷データベースによる検討-  
高知医療センター 救命救急センター 大森 貴夫

010-4 本院での骨盤骨折に対する I V R の検討  
巨樹の会 新武雄病院 総合救急科 堺 正仁

010-5 骨盤骨折に対する血管造影術における外腸骨動脈領域損傷に関する検討  
福井県立病院 救命救急センター 谷崎 眞輔

010-6 当院に搬送された骨盤骨折についての検討  
東海大学医学部 外科学系 救命救急医学 平良 隆行

10:00~11:00

一般口演 11

骨盤外傷② 機能予後

座長：日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 原 義明

011-1 股関節脱臼整復困難症例の検討

帝京大学 医学部附属病院 外傷センター 菱川 剛

011-2 麻酔下ストレステストによる外側圧迫型骨盤輪骨折の不安定性の評価

福山市民病院救命救急センター 整形外科 小川 健一

011-3 IVR-CT を活用し、早期退院できた高齢者骨盤骨折 (AO C type) の治療経験

都立墨東病院 救命センター 西村 健

011-4 当院における骨盤骨折に対する取り組みと効果

製鉄記念広畑病院 姫路救命救急センター 救急科 谷口 智哉

011-5 殿筋壊死を合併し治療に難渋した Morel-Lavallee Lesion の 1 例

山梨県立中央病院 救命救急センター 木下 大輔

011-6 後部尿道外傷の初期治療における primary realignment の功罪

防衛医科大学校 泌尿器科学講座 堀口 明男

11:00~11:50

一般口演 12

四肢外傷④ その他 2

座長：りんくう総合医療センター 救命診療科 松岡 哲也

012-1 呼吸状態の悪化を伴わなかった脂肪塞栓症候群の 2 例

岐阜大学 医学部 附属病院 高度救命救急センター 水野 洋佑

012-2 MATILDA 法による足関節骨折における Joint distraction と Non-distraction の比較

秋田大学 医学部 整形外科 野坂 光司

012-3 高齢者足関節周辺骨折における内固定と Ilizarov 創外固定の治療成績の比較

秋田大学 医学部 整形外科 野坂 光司

012-4 転位の少ない骨粗鬆症性骨折に対するイリザロフ式創外固定器の有用性

秋田大学 医学部附属病院 整形外科 秋田イリザロフ法グループ 柴田 暢介

012-5 ハンドセラピーを実施した両上肢重度挫滅損傷例より useful hand 獲得の可能性を学んで

湘南鎌倉総合病院 湘南外傷センター 馬場 有香

14:10～15:10

一般口演 13

外傷初期診療

座長：福井大学医学部附属病院 総合診療部 林 寛之

013-1 硬膜損傷を伴う脊椎外傷は遅発性小脳出血を合併しうる

佐賀県医療センター 好生館 救命救急センター 屋良 卓郎

013-2 高エネルギー外傷に対する Trauma Pan Scan CT の意義を考える

公立陶生病院 救命救急センター 市原 利彦

013-3 外科治療を要する体幹外傷患者への大動脈遮断手技の比較

東京医科歯科大学 医学部附属病院 救命救急センター 白石 淳

013-4 外傷初期診療における全身 CT 撮影の有効性についての検討

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 中川 雄公

012-5 JRC 蘇生ガイドライン 2015・脳神経蘇生における頭部外傷および Spinal  
Emergency の新設

富山大学 大学院 危機管理医学（救急・災害医学） 奥寺 敬

15:10～16:10

一般口演 14

頭部外傷

座長：昭和大学病院 救急医学科 三宅 康史

014-1 電話救急相談における小児頭部外傷のオーバートリアージ

東京消防庁救急相談センター 実務委員会 石川 秀樹

014-2 両側前頭側頭大開頭による外減圧術の一例

大阪府立中河内救命救急センター 奥田 和功

014-3 重症頭部外傷に対する神経内視鏡手術

福岡東医療センター 脳神経外科 重森 裕

014-4 外傷性くも膜下出血における血液凝固異常の検討

高知医療センター 救命救急センター 野島 剛

014-5 外傷性くも膜下出血の CT 分類と予後予測についての検討  
済生会滋賀県病院 救急集中治療科 越後 整

014-6 外傷性髄液漏に対して脊髄ドレナージ中に緊張性気脳症をきたした一例  
神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 井上 彰

16:10~17:10  
一般口演 15  
多発外傷

座長：名古屋掖済会病院 北川 喜己

015-1 重症多発外傷患者における脳脂肪塞栓症の検討  
北海道大学大学院医学研究科 侵襲制御医学講座救急医学分野 澤村 淳

015-2 大動脈ステントグラフトを併用した胸腹部多発外傷の治療経験  
宮崎大学 医学部 消化管・内分泌・小児外科学 河野 文彰

015-3 当院における高所墜落外傷 113 例の検討  
健和会大手町病院 外科 三宅 亮

015-4 左横隔膜損傷及び胃前壁穿孔を認めた胸部刺創の 1 例  
慶應義塾大学病院 拜殿 明奈

015-5 広範囲後腹膜欠損により止血に難渋した重症骨盤骨折・腹部臓器損傷の一例  
独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 救命救急センター 米山 久詞

015-6 小児重症外傷の治療経験  
横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 高橋 航

## 第 7 会場 (ワテラスコモン)

17:10~18:20

ポスターセッション 1

頭頸部・顔面

座長：日本医科大学付属病院高度救命救急センター 荒木 尚  
帝京大学救命救急センター 石川 秀樹

P1-1 頭部外傷後の皮膚欠損創に対し、陰圧閉鎖療法及び植皮術を用い良好な経過を得た 1 例  
東京都立多摩総合医療センター 笠原 道

P1-2 積極的平温療法を施行した重症頭部外傷の一症例  
高知赤十字病院 救命救急センター 原 真也

P1-3 遅発性に外傷性脳動脈瘤破裂をきたした一例  
横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター 日下 恵理子

P1-4 切迫心停止となった顔面外傷の救命例  
鳥取県立中央病院 救命救急センター 岡田 稔

P1-5 vg 仙骨骨折により一過性の低髄液圧症状を呈した仙骨嚢胞の一例  
誠心会井上病院 外科 中塚 昭男

P1-6 神経症状を伴った仙骨横骨折の1例  
大阪府立中河内救命救急センター 岡本 潤

P1-7 頸椎を貫通し神経根損傷をきたした頸部刺創の一例  
兵庫県立西宮病院 救命救急センター 南 和伸

P1-8 鈍的甲状腺損傷の1例  
獨協医科大学越谷病院 救命救急センター 速水 宏樹

P1-9 頸椎骨折を伴わない後咽頭血腫の1例  
さいたま赤十字病院 救命センター・救急医学科 鈴木 源

P1-10 墜落による外傷性椎骨動静脈瘻の一例  
大分市医師会立アルメイダ病院 救急・集中治療科 稲垣 伸洋

17:10~18:20

ポスターセッション2

胸腹部外傷

座長：山梨県立中央病院救命救急センター 井上 潤一  
弘前大学 救命救急センター 山村 仁

P2-1 来院時ショック状態であった多発外傷患者に対し、救命および機能温存に成功した1例  
香川県立中央病院 救命救急センター 佐々木 和浩

P2-2 外傷性血胸に対し胸腔鏡補助下に横隔膜損傷を同定し止血し得た一例  
医療法人徳洲会 東京西徳州会病院 澤村 直輝

P2-3 肺分画症に肺損傷を合併した鈍的胸部外傷の1例  
京都第二赤十字病院救急科 平木 咲子

P2-4 左背側肋骨骨折の胸部大動脈刺入に対し準緊急で開胸術を行った1例  
深谷赤十字病院 救急科 中込 圭一郎

P2-5 心肺停止蘇生後に ICU で緊急開胸術を施行するも救命し得なかった重症胸部外傷の一例

兵庫医科大学 救急災害医学 白井 邦博

P2-6 鈍的外傷による網嚢内出血の一例  
岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター 加藤 久晶

P2-7 当院における外傷性副腎損傷2例の検討  
国保直営総合病院 君津中央病院 救急・集中治療科 岩瀬 信哉

P2-8 外傷性肝損傷に対する TAE 中に増悪する右季肋部痛にて診断しえた胆嚢動脈損傷の1例  
神戸市立医療センター 中央市民病院 栗林 真悠

P2-9 胸骨圧迫による外傷性肝損傷による出血性ショックの1例  
武蔵野赤十字病院救命救急センター 安田 英人

P2-10 腹部外傷の Damage control surgery 後、Morel-Lavallee Lesion に感染をきたした一例  
長崎大学病院 救命救急センター 山野 修平

17:10~18:20

ポスターセッション3

骨盤・四肢

座長：大阪府立中河内救命救急センター 岸本 正文  
山梨県立中央病院救命救急センター 岩瀬 弘明

P3-1 自傷行為による陰茎切断の一例  
国立病院機構東京医療センター 上村 吉生

P3-2 不安定型骨盤骨折で TAE と内固定により良好な転帰をとった1症例  
東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター 芹澤 響

P3-3 尿道損傷と直腸損傷を合併した骨盤骨折の1例  
鹿児島市立病院 野口 航

P3-4 遅発性に臀部コンパートメント症候群をきたした2例  
山梨県立中央病院 整形外科 岩瀬 弘明

P3-5 会陰部開放創管理目的に人工肛門造設術を施行した開放性骨盤輪骨折の1例  
新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター 普久原 朝海

P3-6 当院で経験した杵創の2例  
横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 江口 英人

P3-7 感染性偽関節に対して Masquelet 法で骨癒合を得た1例  
岡山赤十字病院 整形外科 土井 武

P3-8 脂肪塞栓症候群による意識障害を認めた下腿骨骨幹部骨折の1例  
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科運動機能修復学講座整形外科学 救仁郷 修

P3-9 抗凝固療法中、外傷性皮下血腫によりコンパートメント症候群様病態を呈した一例

加古川西市民病院 初期研修医 平位 恵梨

P3-10 骨盤骨折に対する両側内腸骨動脈塞栓術と殿筋壊死の関連性

北里大学医学部 救命救急医学 丸橋 孝昭

17:10～18:20

ポスターセッション 4

多発外傷・その他

座長：東済生会中央病院救命救急センター 関根和彦

東京医科大学救命救急センター 織田 順

P4-1 外傷出血性ショックに対する緊急開腹術にて救命し得たものの、術中覚醒を訴えた1症例

日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター 菊池 広子

P4-2 背部からの鈍的外傷から大動脈損傷を来しCPAとなった一症例

順天堂大学医学部附属静岡病院 整形外科 三宅 喬人

P4-3 出血性ショックに対しTAE施行後、筋壊死を合併し治療に難渋した多発外傷の一例

東京女子医科大学 救急医学 鈴木 秀章

P4-4 出血性ショックを伴う多発刺創の一例

東海大学 医学部 外科学系救命救急医学 迫田 直樹

P4-5 不安定型骨盤骨折に対し血管塞栓術後、広範囲の殿筋壊死と膀胱壊死を合併した一例

富士重工業健康保険組合 太田記念病院 救急科 飯塚 進一

P4-6 爆発損傷の一例

市立砺波総合病院 整形外科 金澤 芳光

P4-7 軽症頭部外傷で来院、異所性妊娠が判明した1例

日本医科大学 総合診療センター 佐々木 晶子

P4-8 診断が遅れた大腿骨骨折後の下肢仮性動脈瘤の一例

京都医療センター 放射線科 濱中 訓生

P4-9 10階以上から墜落し生存した2症例

神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 蛭名 正智

P4-10 受傷場所の環境菌による急性肺炎を来した頸髄損傷の一例

大分大学医学部附属病院 高度救命救急センター 竹中 隆一

18:30～20:30 会員懇親会 カリスマ博学外傷医決定戦

第30回日本外傷学会日程表  
第2日目 5月31日(火)

## 第1会場 (ソラシティ EAST)

9:00～10:50 パネルディスカッション1: わが国における外傷センターとは?

司会: 福島県立医大外傷学講座 松下 隆  
日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 松本 尚

指定講演

「The new trauma system/trauma centers in Korea」

講演: Aju University School of Medicine John Cook-jong Lee

PD1-1 民間病院の整形外科外傷センターの現状と課題  
札幌徳洲会病院 上田 泰久

PD1-2 外傷センターにおける外傷外科医の必須条件  
済生会横浜市東部病院 救急科 清水 正幸

PD1-3 外傷センター開設直前1年間の診療体制  
埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 井口 浩一

PD1-4 長崎大学病院における外傷センターの役割  
長崎大学病院 外傷センター 宮本 俊之

PD1-5 日本における外傷センターのあり方  
湘南鎌倉総合病院 外傷センター 土田 芳彦

PD1-6 重症体幹部・四肢外傷の診療成績と外傷センターとしての要件  
日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 松本 尚

10:50～11:50

Cross Fire Session 3 : CTで腸管損傷は診断可能か?

座長: 日本医科大学武蔵小杉病院 松田 潔  
国立国際医療研究センター 萩原 章嘉

「YES」: 「CTで腸管損傷は診断可能か: Revenge 編」

聖マリアンナ医科大学付属病院救急医学 松本 純一



「NO」：「DPL は CT の限界をカバーする最強の診断ツールである」

山梨県立中央病院救命救急センター 井上 潤一

12:00～13:00

ランチョンセミナー4 (共催： 東レ株式会社／東レ・メディカル株式会社)

「外傷救命診療における IL-6 迅速測定の意義」

座長：筑波大学附属病院 救急・集中治療科 井上 貴昭

演者：千葉大学附属病院 救急科 中田 孝明  
東レ株式会社 鄭 基晩

13:00～14:00

Cross Fire Session 4 : 頭部外傷に対する穿頭 vs. 大開頭

座長：日本大学板橋病院 木下 浩作  
慶應義塾大学医学部 並木 淳

「穿頭」：「頭部外傷に伴う凝固線溶系障害からみた穿頭術の有用性について」

花と森の東京病院脳神経外科 高山 泰広

「大開頭」：「頭部外傷の穿頭 VS 大開頭」

りんくう総合医療センター脳神経外科 萩原 靖

14:00～15:00

動画セッション

座長：八戸市立市民病院 救命救急センター 今 明秀

MS1-1 心刺創（右室前壁全層性損傷）の緊急手術—Clamshell Incision でのアプローチ

国立病院機構災害医療センター 救命救急センター 岡田 一郎

MS1-2 ウェアラブルカメラを用いた外傷手術シュミレーション

さいたま赤十字病院 救命救急センター・救急医学科 佐藤 啓太

MS1-3 腹部外傷に対する Definitive surgery

埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 松田 真輝

MS1-4 頸部血管中枢側への経胸腔的アプローチ

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 服部 陽

15:00～16:20

パネルディスカッション2：外傷性凝固障害 最新の知見(※救急科領域専門医更新ポイントセッション)

司会：東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学 久志本 成樹  
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 小倉 裕司

PD2-1 頭部外傷後の凝固線溶障害に対する治療戦略  
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 吉矢 和久

PD2-2 Massive transfusion 発動評価にフィブリノーゲン迅速測定器(CG02N)は有用である  
福岡大学病院 救命救急センター 星野 耕大

PD2-3 外傷におけるクリオプレシピテート製剤の適応と投与開始基準の検討  
りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター重症外傷センター 石井 健太

PD2-4 線溶異常は外傷性凝固障害を早期に反映し、治療戦略の指針となり得るか  
東京医科歯科大学 医学部附属病院 救命救急センター 遠藤 彰

PD2-5 外傷急性期のフィブリノーゲン  
北海道大学病院 先進急性期医療センター 救急科 早川 峰司

PD2-6 J-OCTET 報告：病院前輸液は外傷性血液凝固機能のリスク因子である  
東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター 村田 希吉

PD2-7 重症外傷に対する抗凝固障害治療：J-OCTET からの知見を臨床へ  
東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学 久志本 成樹

16:20～  
閉会式

第30回日本外傷学会総会・学術集会会長 大友 康裕

## 第2会場（ソラシティ WEST）

9:00～10:30

委員会企画1（外傷研修コース開発委員会）  
見えてきた JETEC コースの全貌

司会：順天堂大学浦安病院救急診療科 田中 裕  
国立国際医療研究センター病院救命救急センター 木村 昭夫

「JETEC コースの概要について」

順天堂大学浦安病院救急診療科 田中裕

「新専門医制度における JETEC コース」

国立国際医療研究センター病院救命救急センター 木村 昭夫

「JETEC 総論」

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 渡部 広明

「外傷初療における頭部外傷治療戦略」

日本医科大学付属病院高度救命救急センター 横堀 将司

「チームワークの構築」

大阪市立大学医学部附属病院救命救急センター 溝端 康光

「Decision making (多発外傷)」

帝京大学医学部附属病院救命救急センター 藤田 尚

10:30~11:20

招待講演 2

司会： 帝京大学医学部附属病院 救命救急センター 藤田 尚

「Goal-Directed Administration of Haemostatic Products and Medicine」

Witwatersrand University, Johannesburg Prof. Kenneth Boffard

11:20~11:50

委員会企画 2(臓器損傷分類委員会)

CT 画像を用いた新臓器損傷分類

「CT 所見を加味した臓器損傷分類」

済生会横浜市東部病院 救命救急センター 北野 光秀

「肝損傷における新臓器損傷分類」

済生会横浜市東部病院 救命救急センター 船曳 知弘

「CT 所見を加味した脾損傷分類と治療法について」

東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター 豊田 幸樹年

13:00~13:50

特別講演 3(※救急科領域専門医更新ポイントセッション)

司会：大阪大学大学院医学系研究科 救急医学 嶋津 岳士

大量出血症例に対する血液製剤の適正使用ガイドライン

「科学的根拠に基づく血液製剤の適正な使用指針」

名古屋大学医学部附属病院 輸血部 松下 正

13:50~16:00

Joint Session 1 東京オリンピック、パラリンピック 特別企画

(共催:東京オリンピック、パラリンピック競技大会組織委員会・日本集団災害医学会)

基調講演

司会：帝京大学医学部 救急医学講座 坂本 哲也

「オリンピック・パラリンピックの医務体制」

早稲田大学、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

メディカルディレクター

赤間 高雄

司会：国立病院機構災害医療センター **救命救急科** 小井土 雄一

鳥取大学**医学部** 救急災害医学 本間 正人

「アトランタオリンピック爆弾テロ」

九州大学大学院医学研究院災害救急分野 永田 高志

「ロンドン同時多発テロ」

警視庁警務部 奥村 徹

「あらためて秋葉原無差別殺傷事件の医療対応をふりかえる」

日本医科大学付属病院救命救急科 布施 明

「ボストンマラソン爆弾テロ」

山梨県立中央病院 救命救急センター 井上 潤一

「パリ同時多発テロ事件における医療対応の実際」

横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 森村 尚登

### 第3会場 (Room C)

9:00~10:20

Joint Session3

「外傷医と脳外科医の効率的連携を考える：Beyond the standard」(共催：日本脳神経外傷学会)

座長：国立病院機構災害医療センター 脳神経外科 高里 良男  
日本医科大学大学院医学研究科外科系救急医学分野 横田 裕行

「頭部手術を要する多発外傷への対応に向けて -日本外傷データベースからの解析と自施設の経験から」

東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター 白石 淳

「重症頭部外傷に対する“All in One”型の治療方針の検討」

奈良県立医科大学 脳神経外科 朴 永鉄

「救命救急センターにおける脳神経外傷の治療・管理-プレホスピタルを含めた初期診療について-」

東海大学脳神経外科 本多ゆみえ

「独立型3次救急施設における重症頭部外傷への取り組み-脳神経外科医と外傷医との連携体制維持のために-」

千葉県救急医療センター 脳神経外科 宮田 昭宏

「重症頭部外傷を伴う多発外傷における脳神経外科医と外傷医とのチーム連携  
~Beyond the standard:スタンダードを超えたハイブリッド初療連携~」

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 渡部 広明

「外傷医と脳外科医の連携に関する北総モデルの提案」

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 阪本 太吾

10:20~11:40 (トラウマレジストリー検討委員会)

委員会企画3

JTDBを用いた外傷疫学研究の成果と課題

座長：防衛医科大学校防衛医大研究センター 外傷研究部門 齋藤 大蔵

亀田総合病院 救命救急科 白石 淳

「In-Hospital Trauma Mortality Has Decreased in Japan Possibly Due to Trauma Education」

亀田総合病院 救命救急科 白石 淳

「日本の成人重症外傷患者の搬送方法の違い（ドクターヘリ搬送と救急車搬送）と予後の関係」

筑波メディカルセンター病院 阿部 智一

「外傷患者の入院後死亡率に関わる基礎疾患の影響の研究論文」

松戸市立病院救命救急センター 庄古 知久

「中等～重症意識障害のある鈍的外傷患者において、全身CT（WBCT）は死亡割合を低下させるのか？」

国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 木村 昭夫

12:00～13:00

ランチョンセミナー5（共催：東京エレクトロニクスシステムズ株式会社）

13:00～14:30

Joint Conference2 JAST/JSACS/KSACS

司会：大阪市立大学医学部附属病院 救命救急センター 溝端 康光

東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター 村田 希吉

President of KSACS, Chonnam National University Jung Chul Kim

University of Ulsan, Asan Medical Center Suk-Kyung Hong

演者：日本医科大学医学部附属病院高度救命救急センター 金 史英

堺市立総合医療センター救命救急センター 臼井 章浩

済生会横浜市東部病院救命救急センター 船曳 智弘

Yonsei University Jae Gil Lee

Korea University Nam Ryeol Kim

St.Mary's Hospital Hang joo Cho

14:30～15:30

教育講演（※救急科領域専門医更新ポイントセッション）

司会：久留米大学病院 坂本 照夫

「初歩から理解できる傾向スコアマッチング法 -The Journal of Trauma and Acute Care Surgery 誌に採択された論文を題材として」

## 第4会場 (Room B)

9:00~10:00

一般演題 16

腹部外傷④ 肝・膀胱・その他

座長：川口市立医療センター 救命救急センター 小川 太志

016-1 当院における重症肝損傷・脾損傷・膵損傷の開腹手術症例についての検討  
兵庫県立淡路医療センター 外科 坂平 英樹

016-2 経過中に自然消失した外傷後肝仮性動脈瘤の一例  
大阪府三島救命救急センター 木下 直彦

016-3 外傷に伴い胆管内に多量の気腫を認めた症例  
総合大雄会病院 救急科 三宅 央哲

016-4 遅発性に発症した外傷性脾破裂に対して脾臓摘出術を施行した1例  
茨城県立中央病院 茨城県地域がんセンター 外科 高尾 幹也

016-5 外傷性膀胱破裂の臨床的検討  
岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター 中野 志保

016-6 子宮広間膜損傷および腹腔内膀胱破裂を来した腹部鈍的外傷の一例  
済生会宇都宮病院 救急科 鯨井 大

10:00~11:00

一般演題 17

腹部外傷⑤ その他 2

座長：~~独立行政法人~~国立病院機構災害医療センター救命救急センター 岡田 一郎

017-1 外傷性横隔膜破裂に対する腹腔鏡下横隔膜修復術の有用性  
済生会熊本病院 外科 小川 克大

017-2 腹腔内出血をきたした外傷性小腸 GIST 破裂の1例  
東海大学 医学部 外科学系救命救急医学 青木 弘道

017-3 鈍的損傷による外傷性胃破裂4例の検討  
千葉県救急医療センター 外傷外科 潮 真也

017-4 診断確定が遅延した外傷性腸管損傷の3例  
菊名記念病院 救急部 高橋 哲也

017-5 鈍的腹部外傷に対するチーム医療・多職種連携の検討  
岩手県立久慈病院 救命救急センター 皆川 幸洋

017-6 腹部鈍的外傷後に生じた遅発性後腹膜血腫の1例  
埼玉医科大学 国際医療センター 救命救急科 大谷 義孝

11:00~11:50

一般演題 18

画像診断

座長：山梨県立中央病院 救命救急センター 岩瀬 史明

018-1 REBOA 使用下での CT 検査について

八戸市立市民病院 救命救急センター 昆 祐理

018-2 鈍的肝損傷の治療戦略

北里大学 医学部 救命救急医学 檜見 文枝

018-3 Trauma Panscan の在り方を再考する

聖マリアンナ医科大学 放射線医学 三浦 剛史

018-4 画像上同定しえた腎静脈分枝損傷の一例

北里大学 医学部 救命救急医学 丸橋 孝昭

018-5 来院時 CT および腹部所見にて診断できなかった腸管・腸間膜損傷症例

北里大学 医学部 救命救急医学 花島 資

12:00~13:00

ランチョンセミナー 6 (共催：日本製薬株式会社)

13:00~14:00

一般演題 19

胸部外傷① 大血管その他

座長：沖縄県立中部病院 本竹 秀光

019-1 TEVAR を施行した鈍的大動脈損傷症例の検討

信州大学附属病院 心臓血管外科 中原 孝

019-2 重複大動脈損傷を有した多発外傷の一救命例

山梨県立中央病院救急科 川島 祐太

019-3 鈍的大動脈損傷症例の検討

大分大学 医学部 附属病院 高度救命救急センター 重光 修

019-4 外傷性大動脈損傷の治療方針～当院での経験から～

済生会横浜市東部病院 外科 萩原 一樹

019-5 重症肺損傷に対し V-V ECMO 導入し肺切除・経動脈的塞栓術を行い救命し得た 1 例

前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 増田 衛

019-6 屠殺銃暴発による爆発外傷の 1 例

熊本大学 医学部 附属病院 救急・総合診療部 金子 唯

14:00～15:00

一般演題 20

胸部外傷② 肺損傷その他

座長：小田原市民病院 呼吸器外科 西海 昇

020-1 外傷性仮性肺嚢胞が臨床経過におよぼす影響の検討

奈良県立医科大学 高度救命救急センター 川井 廉之

020-2 外傷性気胸に対しての胸腔チューブ穿刺位置の検討

群馬大学大学院医学系研究科 救急医学 青木 誠

020-3 外傷性血気胸に対する胸腔ドレーンの挿入肋間と先端位置

手稲溪仁会病院 救命救急センター 清水 隆文

020-4 脾・腎損傷 TAE 後、肺損傷に対し肺部分切除術を施行した一例

愛知医科大学病院 救命救急科 富野 敦稔

020-5 気道出血のリスク因子の検討- pneumatocele は気道出血のリスク因子である-

国立病院機構災害医療センター 救命救急センター 井上 和茂

020-6 肝損傷、横隔膜損傷からの出血が流入して心嚢液貯留となった前胸部刺創の1例

長崎大学病院 救命救急センター 猪熊 孝実

## 第5会場 (Room A)

9:00～10:00

一般演題 21

四肢外傷① 血管損傷

座長：帝京大学医学部附属病院 救急科・外傷センター 黒住 健人

021-1 膝窩動脈損傷を合併した Floating Knee Fracture の1例

近畿大学医学部附属病院 救命救急センター 濱口 満英

021-2 左上下肢不全切断に対し上肢のみ救済可能であった1例

東京慈恵会医科大学附属柏病院 救急部 平沼 浩一

021-3 飛んできたカッターの刃により大腿動静脈損傷を来たしバイパス術を行った一例

北里大学 医学部 救命救急医学 増田 智成

021-4 高齢者の下肢開放性主要血管損傷の治療経験

佐久医療センター 整形外科 田野 敦寛

021-5 膝窩動脈損傷 28 例の検討

埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 芝山 浩樹

021-6 Mangled foot 治療の小経験

兵庫県立淡路医療センター 整形外科 大江 啓介



10:00～11:00

一般演題 22

四肢外傷② コンパートメント症候群・その他

座長：北里大学医学部 整形外科 峰原 宏昌

022-1 下腿コンパートメント症候群を合併した下腿骨骨折の治療経験  
岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター 神田 倫秀

022-2 前腕コンパートメント症候群症例の検討  
埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 古賀 陽一

022-3 軟部組織損傷を伴う足関節周辺骨折は MATILDA 法によりどこまで閉鎖的に整復可能か  
秋田大学 医学部 整形外科 野坂 光司

022-4 当院において筋膜切開を施行した外傷性コンパートメント症候群の筋壊死関連因子の検討  
九州大学病院 救命救急センター 靱井 健太

022-5 広範囲軟部組織欠損に分節状骨欠損を伴う重度下腿開放骨折の一例  
湘南鎌倉総合病院 外傷センター 綾部 真一

022-6 当科入院中に行ったマイクロサージャリー手術の検討  
大阪警察病院 救命救急科 北山 淳一

11:00～12:00

一般演題 23

四肢外傷③ 手術・その他

座長：東京医科歯科大学大学院 整形外科学分野 王 耀東

023-1 脂肪塞栓症候群発症後に髓内釘固定を施行した大腿骨骨幹部骨折の検討  
福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター 救急科 中村 周道

023-2 大腿骨骨幹部骨折髓内釘治療後の回旋変形  
岡山大学病院 整形外科 小松原 将

023-3 すべての開放骨折に即時手術が必要か？  
札幌徳洲会病院 整形外科外傷センター 上田 泰久

023-4 足部と趾外傷の再建  
沖縄県立中部病院 形成外科 今泉 督

023-5 Gustilo IIIB 下腿骨骨折における有茎皮弁、有茎筋弁の治療経験  
東海大学外科学系整形外科学 小林 由香

023-6 高エネルギー外傷における大腿骨骨幹部骨折と輸血施行率の検討  
岡山赤十字病院 整形外科 近藤 宏也

13:00～14:00

一般演題 24

輸液・輸血療法

座長：筑波大学附属病院 救急・集中治療部 井上 貴昭

024-1 急性期バイオマーカーに寄る外傷凝固障害予測

山梨県立中央病院 救命救急センター 松本 学

024-2 mTBSS (modified Traumatic Bleeding Severity Score) で骨盤骨折の大量輸血を早める

東京都立墨東病院 岡田 寛之

024-3 Traumatic Bleeding Severity Score (TBSS); 高齢先進国における大量輸血療法の予測

前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 小倉 崇以

024-4 鈍的外傷患者の輸血に関する検討

群馬大学 大学院 救急医学 萩原 周一

024-5 重度の凝固障害を伴う大量出血に対しフィブリノゲン製剤を投与した外傷患者 6例の検討

さいたま赤十字病院 救命救急センター・救急医学科 五木田 昌士

024-6 重症外傷に対するクリオプレシピテートによる早期フィブリノゲン補充戦略の可能性

東北大学大学院 医学系研究科 救急医学分野 工藤 大介

## 第6会場 (テラスルーム)

9:00～10:00

一般演題 25

基礎研究・病態生理

座長：日本医科大学付属病院 救命救急科 増野 智彦

025-1 レーザー誘起衝撃波を用いたマウス胸部爆傷モデルは脳機能障害を発症する

防衛医科大学校 防衛医学研究センター 外傷研究部門 宮崎 裕美

025-2 対照的な転帰を辿ったプロテインS活性低下/欠損症を持つ外傷性頭蓋内出血の2例

慶應義塾大学 医学部 救急医学教室 上倉 英恵

025-3 レーザー誘起衝撃波を用いたマウス軽症頭部爆傷モデルの開発研究

防衛医科大学校 防衛医学研究センター 外傷研究部門 戸村 哲

025-4 搬入直後の FDP 値は軟部組織損傷出血に起因する高度貧血の予測因子となりうるか？

加古川西市民病院 救急科 切田 学

025-5 重症外傷患者において白血球のアディポネクチン運搬能は低下する  
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 梅村 穰

025-6 外傷治療における耳介迷走神経電氣的刺激の可能性  
東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター 八木 雅幸

10:00～11:00

一般演題 26

IVR・Non-operative management

座長：聖マリアンナ医科大学 心臓血管外科 西巻 博

026-1 外傷後の脾仮性動脈瘤の特徴に関する検討  
さいたま赤十字病院 救急医学科 佐藤 啓太

026-2 多発外傷患者におけるハイブリッド手術室を用いた治療経験  
高知医療センター 整形外科 田村 竜

026-3 血管造影検査時にのみ造影剤漏出を認める骨盤内血腫を伴う骨盤骨折についての検討  
済生会宇都宮病院 放射線科 中間 楽平

026-4 Hybrid concept をもって救命し得た Ps1.7%の多発外傷の1例  
八戸市立市民病院 救命救急センター 小野寺 隆太

026-5 骨盤骨折に対する TAE 試行中に脾仮性動脈瘤破裂により出血性ショックをきたした1例  
嶋田病院 救急集中治療科 島田 裕史

026-6 重症腹部骨盤外傷に対する IVR の有用性と問題点  
北里大学 医学部 救命救急医学 片岡 祐一

11:00～12:00

一般演題 27

胸部外傷③ 胸壁・横隔膜損傷

座長：筑波メディカルセンター病院 救命救急科センター 河野 元嗣

027-1 外科的修復術後に陽圧呼吸管理を加えて治療した多発横隔膜損傷の1例  
兵庫県立西宮病院 救命救急センター 杉野 達也

027-2 肋骨骨折の保存治療  
岡山大学大学院医歯薬総合研究科 地域医療学講座 山川 泰明

027-3 緊急手術を必要とした外傷性横隔膜損傷9例の検討  
和歌山県立医科大学附属病院 高度救命救急センター 上田 健太郎

027-4 当センターにおける胸骨骨折例の検討 一脊椎外傷の合併を中心に一  
都立墨東病院 救命センター 西村 健

027-5 肋骨骨折の胸腔鏡所見

日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 石井 浩統

027-6 多発肋骨骨折患者における入院後呼吸状態悪化を防ぐ

堺総合医療センター 救命救急センター 救急外科 蛭原 健

13:00~14:00

一般演題 28

Damage Control Surgery

座長：佐賀大学 救急医学講座 阪本雄一郎

028-1 DCS 後腹壁閉鎖困難症例に対する OAM：チュラロンコン大学での方法を学んで

佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター 永嶋 太

028-2 ハイブリッド手術室で DCS、TAE を施行し救命し得た重症鈍的肝損傷の一例

富士重工業健康保険組合 太田記念病院 澤本 徹

028-3 時間を意識した Damage Control Resuscitation の重要性

公立豊岡病院 但馬救命救急センター 番匠谷 友紀

028-4 enteroatmospheric fistula の管理に難渋した多発外傷の 1 例

佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター 岩村 高志

028-5 腹部鈍的外傷による肝損傷・腎損傷に対し DCS と IVR の併用により救命し得た 1 例

近畿大学 医学部 救急医学 石部 琢也

028-6 Wittmann Patch を用いた重症外傷患者の Open Abdominal Management の検討

済生会横浜市東部病院 救命救急センター 齋田 文貴

14:00~15:00

一般演題 29

外傷診療体制② 院内

座長：前橋赤十字病院 中野 実

029-1 救命センターでの外傷診療体制の整備 外傷診療チームが整形外傷診療にもたらす効果

熊本赤十字病院 外傷外科 岡野 博史

029-2 当院重症外傷センター開設後の現況

横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 加藤 真

029-3 当センターにおける小児外傷診療の現況と課題

横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 問田 千晶

029-4 当院における骨盤骨折の臨床的検討

勤医協中央病院 救急科 田口 大

029-5 頭部外傷を含む多発外傷に対する ICP モニタリング下運動器外傷手術の経験  
奈良県立医科大学 高度救命救急センター 林 智志

029-6 アルカリ誤飲により腐食性食道炎を発症した 2 例  
慶應義塾大学 医学部 救急医学 増澤 佑哉